

滝高フロンティアサイエンス通信

2014,10,7 SSH 理数科

第 14 号

SSH 特別活動 理数科 1 学年道内研修「宮島沼・巡検」レポート その 1

理数科 1 学年 39 名は、10 月 1 日（水）から 1 泊 2 日で、美唄市にある宮島沼へ『SSH 第 1 学年理数科校外研修』に行ってきました。宮島沼はラムサール条約に登録されている湿地で、貴重な渡り鳥「マガン」飛来地として有名です。また自然と人間の共生・共存のための様々な取り組みをしている場所でもあります。

研修の目的

- * 自然環境と人間生活の関わり、研究調査の役割を学ぶ。
- * マガンの観察を通してマガンの生態について興味関心を高める。
- * 湿地の保全と賢明な利用についての実践を学び、環境保全の在り方を考える。



理数科 1 学年では 新しい設定科目リサイエンス A の授業で、地域の自然を題材に学び、研究者の方から環境共生に関わる研究について講義を受けました。今回は、野外にて、環境調査実習に取り組みました。



研修の日程と内容

10月1日	活動内容	10月2日	活動内容
8:30	学校出発 バスにて宮島沼へ！	4:40	起床
9:30	宮島沼着 長靴に履き替えていざ 【環境調査実習】	5:00	ホテル出発
10:00	①・各場所サンプル水 水質調査	5:10	宮島沼着 マガンのねぐら立ち観察
12:00	②・沼流水の調査	6:00	ホテルへ
13:00	③・採水器による沼水の採水	7:00	朝食
15:00	④・田んぼから発生する気体採集	9:30	マガンを支える農業 宮島沼周辺環境の観察
16:00	【マガンの観察と個体数調査】		トノサマガエルの捕獲調査
18:00	ホテルへ（月形温泉ホテル）	12:00	ホテルにて昼食 実習レポート作成成分担決め
19:00	夕食 入浴	13:00	ホテル発 バスにて学校へ
22:00	就寝	13:50	学校着 振り返り まとめ

ハードな日程でしたが、皆、笑顔で前向きに実習に取り組んでいました。積極的に質問もあり、さすがでした！
酪農学園からは水質化学研究室の中谷先生、環境化学研究室の吉田先生ほか 6 名のアシスタントの学生さん、
宮島沼水鳥・湿地センターの牛山さん、多くの方々の協力のもと実施されました。ありがとうございました。

活動内容詳細については生徒の作成したレポートをお待ちください！！